

Nishidaizu



5 | 広報にしあいづ

May. 2017 (平成29年) No.703

ハングリー
「Hungry」
(おなかすいた!)

楽しく英語のお勉強★

こゆりこども園が開園★ P 2～P 3

P 4 未来を創るまちの予算

P 8 まちの話題
町内各校入学式 (ほか)

P 10 まちからのお知らせ&ニュース
町職員の人事異動、地域おこし協力隊着任 (ほか)

木の温もりあふれる魅力的な園舎

こゆいこども園が開園

西会津町こゆいこども園は、保育と教育を一体的に担う認定こども園としての機能に加え、子育て支援センターや放課後児童クラブを併設した子育て支援の拠点施設です。

町では、平成25年に教育・保育サービスに関するニーズ調査を実施し、その結果をもとに設置に向けた検討を始めました。

「子ども・子育て会議」や「保育施設整備等審議会」などの各種会議等でその必要性を話し合い、協議を重ね、保護者への説明会を経て平成27年10月から本格的な工事を開始しました。園舎の設計には会議等の委員や保育士の声を取り入れ、子どもたちが使いやすいようロッカーや手洗い場の高さなどを配慮しています。

こうして本年3月7日に完成した園舎は、木の温もりにあふれ、柔らかな日の光が差し込む魅力的な施設となりました。こゆいこども園は4月2日に開園し、5日からは子どもたちが元気に通っています。園では、保護者の皆さんが子育てに魅力や喜びを感じられるよう、多様できめ細やかな保育・教育サービスの充実と質の向上に努めています。

今月号では、西会津町こゆいこども園の事業経過や園舎の概要などを紹介します。



主な事業経過

2013【平成25年】

11月 ニーズ調査

2014【平成26年】

1月 第1回子ども・子育て会議

9月 第1回保育施設整備等審議会

10月 同審議会視察研修

11月 第4回保育施設整備等審議会「基本方針等について答申」

2015【平成27年】

4月 第1回認定こども園に関するワークショップ

6月 認定こども園用地・調印式

9月 杉材寄贈申込受付開始

10月 地元産材活用事業着手

敷地造成工事着手

実施設計業務着手

2016【平成28年】

6月 園舎新築工事着工

認定こども園の名称を公募

9月 名称決定「西会津町こゆいこども園」

12月 外構舗装工事・外構整備工事着工

2017【平成29年】

3月 認定こども園新築工事竣工

竣工



開園式・くす玉割り



感謝状贈呈者【敬称略】

◎用地提供者

長谷川 尚子	長谷川 英雄
齋藤 一	齋藤 ナ才
新田 博美	鈴木 修
五十嵐 瑞枝	山口 貞二
井上 千ヨ子	齋藤 哲
秦 安延	森田 隆子
齋藤 久代	

◎園舎建築用杉材寄贈

青木 千ヨ子	沼澤 文彦
野口 圭一	伊藤 てる子
清野 俊輔	渡部 ミツイ
齋藤 一徳	佐藤 新一
田崎 宗作	新井田 大
武藤 久雄	佐藤 百太郎
五十嵐 茂子	齋藤 哲
鈴木 寛子	原町 財産区

◎備品寄贈

高橋 至
川口タンス店代表 川口 良平
西会津ライオンズクラブ

園舎概要

構造 / 木造平屋建て（準耐火構造）
規模 / 建築面積1,898㎡
延床面積1,793㎡
内容 / 0～5歳児保育室、遊戯室、調理室、子育て支援室、病後児保育室、放課後児童クラブ室、相談室など
空調設備 / 木質ペレットボイラー 1基
灯油ボイラー 1基
床暖房（廊下）、床吹き出し暖房、壁掛け型エアコン（各室）

屋外環境

規模 / 園庭面積2,171㎡
遊具 / 木製遊具、鉄棒、ブランコなど

写真＝こゆりこども園の通園風景（4月18日撮影）

事業費（平成29年3月6日現在）

※起債は元利償還金の70%が地方交付税に算入される過疎対策事業債を活用

整備施設	事業費	補助金	起債	一般財源
用地購入・補償費	3,609万円	0万円	3,600万円	9万円
敷地造成・測量設計	5,341万円	0万円	5,340万円	1万円
地元産材活用事業	3,451万円	0万円	0万円	3,451万円
園舎建築・設計監理	6億3,084万円	2億874万円	4億5,870万円	1,680万円
木材購入	5,339万円			
外構工事	7,582万円	0万円	7,070万円	511万円
合計	8億8,406万円	2億874万円	6億1,880万円	5,652万円



感謝状贈呈

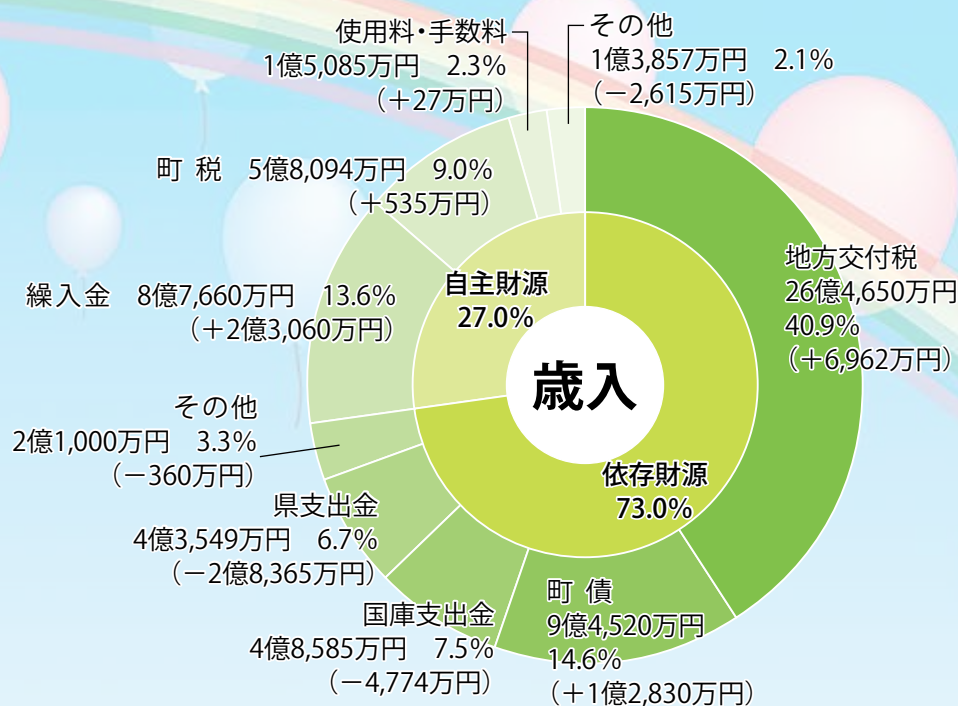


園舎外観

平成29年度一般会計当初予算額は64億7,000万円

未来を創る

まちの予算



用語解説 一般会計：町の基本となる会計。福祉や土木、教育など一般的な事業を行う。依存財源：国や県などから交付されるお金。自主財源：町が自ら収入できるお金。地方交付税：一定水準の行政サービスができるよう自治体の財政状況に応じて国から交付されるお金。町債：道路改良や施設整備などを行う際にその資金として長期的に借り入れるお金。また、財源不足を補うため地方交付税の代わりに借りるお金。繰入金：基金(積立金)や特別会計から入るお金。

町では、「みんなの声が響くまちにしあいづ」を基本理念に、「西会津町総合計画」や町の憲法である「まちづくり基本条例」が目指す協働のまちづくりの実現に向け、定住促進と交流人口の拡大を総合的かつ強力に推進し、「住んでみたい、行ってみたい町へ」をテーマとした各種事業に取り組んでいます。

平成29年度の一般会計当初予算は、役場新庁舎整備事業や防災行政無線デジタル化整備事業、「西会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地域の活力再生に重点を置いた特色ある事業を盛り込み、総額64億7,000万円という過去最大の大型予算となりました。

今月号では、平成29年度当初予算の概要をお知らせします。

国の動き

安倍内閣はこれまで、長く続いたデフレからの脱却を目指し、経済の再生を最優先にアベノミクス「三本の矢」を推進してきましたが、その第2ステージとして、誰もが生きがいを持ち、充実した生活を送ることができる一億総活躍社会の実現に向け、「新・三本の矢」(GDP600兆円、希望出生率1・8%、介護離職者ゼロ)に沿った施策を推進することとしました。

一方、平成29年度は「経済・財政再生計画」の2年目でもあるため、国の厳しい財政状況を踏まえ、聖域のない徹底した事業の見直しを図りながら、東日本大震災や熊本地震など災害からの復興といった重要な政策については予算を確保しつつ、経済再生と財政健全化の両立を目指し

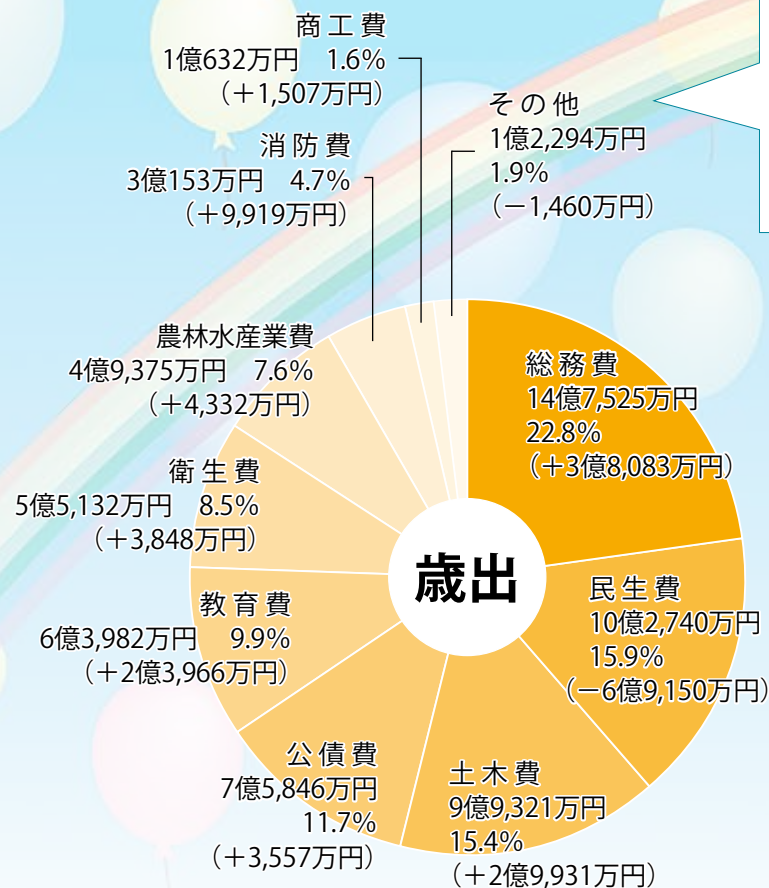
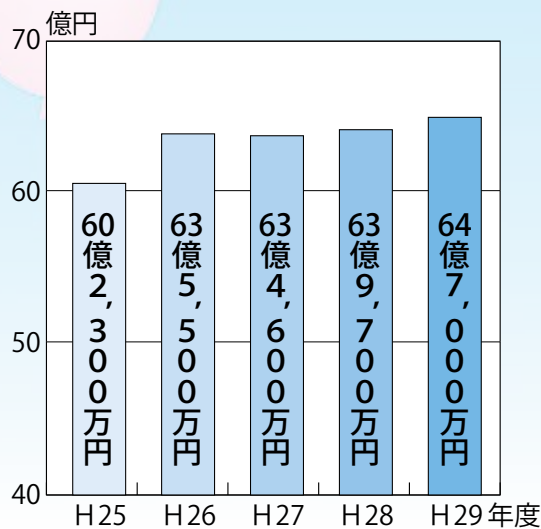
町の予算編成方針

平成29年度は、役場新庁舎整備や小学校プール建設工事、防災行政無線のデジタル化改修工事など大規模事業を計画しているほか、地域の活力再生に重点を置いた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業を実施する予定です。また、町民生活に密着した事業や町の発展につながる事業、人口減少に歯止めをかける政策的な事業を優先するとともに、「みんなの声が響くまちにしあいづ」

〈その他内訳〉

議会費	9,278万円	1.4%	(-69万円)
災害復旧費	2,491万円	0.4%	(-39万円)
労働費	25万円	0.0%	(-1,352万円)
予備費	500万円	0.1%	(±0万円)

一般会計 当初予算額の推移



※歳入、歳出とも%は総額に占める割合、()は対前年度増減額

重点施策と重点目標

を基本理念とした「西会津町総合計画」と、町の憲法である「まちづくり基本条例」が目指す協働によるまちづくりの実現に向け、限られた財源をより効果的に活用できるように予算編成を行いました。

町では、町民の皆さんと町の将来展望を共有しながら定住促進と交流人口の拡大を強力に推進するため、「住んでみたい、行ってみたい町へ」をテーマとした事業を重点施策として位置付けています。また、昨年度から引き続き、平成29年度も「教育の振興と人材の育成」「地域経済の活性化」「健康づくりと安全・安心」の3点を重点目標とし、各種事業を着実に実施していきます。

主な事業

平成29年度は、新規事業として前述の大規模事業を実施するほか、子育て支援の一層の充実を図るため、2人目以降の保育料無料化に加え新たに第1子の保育料を半額とする保育料軽減事業、温泉健康保養センターの浴室改修事業、スポーツ少年団の支援補助金などを実施します。

また、重点目標別には、「教育の

振興と人材の育成」として、西会津高校の活性化を図るため通学費や卒業後の修学費を補助するほか、小・中学校のICT環境を整備します。さらに、「地域経済の活性化」として、西会津高校の生徒らを中心とした商品開発の支援や、菌床栽培用ハウスの整備事業、まちなかへの誘客に向けた野沢まちなか活性化事業を行います。「健康づくりと安全・安心」としては、「健康がいちばん！」をキャッチフレーズとした健康づくり事業、各種健(検)診事業、予防接種事業の推進に加え、町縦貫道路や町道野沢安座線のスノーシエツド修繕など、生活道路の整備に取り組みます。

なお、平成29年度の主な事業は6〜7ページのとおりです。

特別会計等

町では一般会計のほか、10の特別会計等で事業を行っています。これらの平成29年度予算総額は34億7,556万円となりました。

特別会計等では、住宅団地の分譲や上下水道の整備・運営のほか、後期高齢者医療、国民健康保険、介護保険などの運営を行い、町民の皆さんの快適な暮らしと健康を守っていきます。なお、会計ごとの予算額は7ページのとおりです。

※【新】…新規事業 【拡】…拡大事業

こころ豊かな人を育むまちづくり — 教育の振興と人材育成 —

- ▶【拡】認定こども園運営事業 1億9,222万円
- ▶【拡】母子保健事業（妊婦検診公費負担、フッ化物洗口等） 700万円
- ▶出産祝金（第1子から支給） 1,010万円
- ▶子育て医療費サポート事業（18歳までの医療費無料化） 1,982万円
- ▶【新】西会津小・中学校ICT環境整備 172万円
- ▶【新】西会津小学校屋外プール整備 2億5,180万円
- ▶西会津高校活性化対策事業（通学費等補助、修学資金貸付など） 804万円
- ▶スポーツ大会参加補助金（ふくしま駅伝・市町村対抗野球・ソフトボール大会への参加支援） 320万円
- ▶西会津国際芸術村事業（施設等整備） 5,130万円
- ▶横町館跡本調査事業 1,902万円
- ▶【新】スポーツ少年団育成補助金 50万円



▲こゆりこども園入園式から。140人が元気に入園しました



▲選手を鼓舞する監督と力走する選手。ふくしま駅伝から



▲活力ある地域づくり支援事業を活用して始まった安座のおとめゆり祭り













▲伊藤町長から委嘱状を受け取る地域おこし協力隊員

豊かで魅力あるまちづくり — 地域経済の活性化 —

- ▶多面的機能支払交付金事業 4,526万円
- ▶中山間地域等直接支払事業 7,781万円
- ▶広葉樹林再生事業（広葉樹林を伐採・活用し、森林の再生を図る） 5,076万円
- ▶新規就農者ステップアップ支援事業（担い手・新規就農者経営支援） 300万円
- ▶園芸ハウス（3棟）・菌床栽培用ハウス（4棟）整備事業 3,367万円
- ▶健康な土づくり事業（土壌分析、小型農業機械購入補助） 559万円
- ▶有害鳥獣対策事業 452万円
- ▶活力ある地域づくり支援事業（地域づくり団体等への支援） 300万円
- ▶企業支援補助金（町内企業の従業員研修費・資格取得費等を支援） 150万円
- ▶【新】魅力発信交流人口拡大事業（町PR動画製作・発信） 211万円
- ▶【新】野沢まちなか活性化事業（まちなかへの誘客に向けた検討） 128万円
- ▶周遊促進事業（越後街道など） 315万円
- ▶定住・移住総合支援センター運営事業 670万円
- ▶【新】温泉健康保養施設大規模修繕（浴室等の修繕） 2,552万円
- ▶i.club事業（西会津高校の生徒による商品開発を支援） 250万円
- ▶【拡】地域おこし協力隊配置事業（7名配置） 3,295万円
- ▶後継者対策事業（婚活事業） 400万円
- ▶定住住宅整備費補助金（45歳以下の若者・町への移住者に対する住宅取得支援、住宅団地購入費支援） 500万円
- ▶町営住宅修繕事業（町営西原・下小屋住宅の維持修繕事業） 2,602万円

町民一人当たりの支出額 一般会計予算

※平成29年4月1日現在の住民基本台帳人口6,677人を基に算出

総務費		民生費		土木費		公債費		教育費	
220,946円		153,871円		148,750円		113,592円		95,825円	
	役場の維持管理や情報政策、交通対策、選挙などに要する経費		高齢者・障がい者・児童などの福祉全般に要する経費		道路整備や除雪、町営住宅管理などに要する経費		借入金（町債）の返済に要する経費		小中学校、スクールバス、給食センター、公民館などに要する経費
衛生費		農林水産業費		消防費		商工費		議会費	
82,570円		73,948円		45,160円		15,923円		13,895円	
	予防接種や検診、ごみ処理、環境対策などに要する経費		農林業の振興、基盤整備などに要する経費		喜多方広域消防や消防団、消防施設に要する経費		商工業の振興や観光事業に要する経費		議会運営に要する経費

平成29年度の主な事業

人と自然にやさしいまちづくり — 健康づくりと安全・安心 —

- ▶健康がいちばん推進事業（食と運動、健(検)診の連携による健康づくりとその習慣化を目指すポイント事業の実施）…………… 163万円
- ▶各種健(検)診事業（胃がん・子宮がん・乳がん・肺がん・大腸がん、基本健診、特定健診等）…………… 1,932万円
- ▶高齢者予防接種事業（65歳以上高齢者のインフルエンザ・肺炎球菌ワクチン接種費用の助成支援）…………… 1,285万円
- ▶小児予防接種事業（日本脳炎・麻疹・風疹・肺炎球菌・ヒブ・子宮頸がん・4種混合・ポリオ・水痘のワクチン接種費用の助成）…………… 1,011万円
- ▶精神保健事業（精神デイケア・にこにこ相談所の運営費）…………… 316万円
- ▶高齢者の生きがい対策事業（老人クラブ・老人スポーツ支援）… 353万円
- ▶コミュニティ育成事業（自治区が管理する防犯灯・街路灯のLED化工事等への支援補助）…………… 306万円
- ▶町民バス運行事業（デマンドバス・路線バス運行費）…………… 8,674万円
- ▶町道野沢安座線スノーシェッド修繕事業…………… 4,000万円
- ▶町道野沢柴崎線道路整備事業（橋屋橋取り付け工事等）…………… 2億500万円
- ▶町道小学校線道路整備事業（改良舗装工事）…………… 5,000万円
- ▶町道小山松峯線道路整備事業（改良舗装工事）…………… 2,500万円
- ▶町道舗装修繕事業（老朽化の著しい舗装の計画的修繕）…………… 3,000万円
- ▶町道橋りょう修繕事業（老朽化の著しい橋の計画的修繕）…………… 3,100万円
- ▶【新】道路整備計画調査事業…………… 700万円
- ▶雪処理支援隊事業…………… 328万円
- ▶上水道老朽化更新事業…………… 3,500万円
- ▶個別排水処理事業（浄化槽45基の整備）…………… 2,001万円
- ▶簡易水道施設整備事業（屋敷地区補助金）…………… 6,328万円
- ▶さゆり公園施設維持修繕事業（遊具・屋内プールボイラー・野球場スタンドベンチ更新等）…………… 4,900万円
- ▶斎場施設整備事業（喜多方地方広域市町村圏組合負担金）…………… 5,736万円
- ▶防災行政無線デジタル化整備事業…………… 6,200万円
- ▶ハザードマップ整備事業…………… 301万円
- ▶屋敷地区急傾斜地対策事業（県営事業負担金）…………… 313万円



▲健康がいちばん!2016のこゆりちゃん 寿司作りから



▲町民バス「野沢・坂下線」で登校する 西会津高校生



▲県代行事業で架け替えられる橋屋橋 (本年度中に完成予定)



▲福島ホープス公式戦に沸いたさゆり公園野球場

計画の推進 — 効率的・効果的な行政の推進と健全財政 —

- ▶地方公会計整備事業（地方公共団体における公会計の導入）…………… 579万円
- ▶役場新庁舎整備事業…………… 4億4,045万円

特別会計等の当初予算

保険料や使用料など、特定の収入があり、収入の使い道が決まっている会計

特別会計名	予算額	前年度比
工業団地造成事業	8,868万円	0.0%
住宅団地造成事業	605万円	△3.0%
下水道施設事業	1億6,364万円	△6.8%
農業集落排水処理事業	1億1,518万円	2.3%
個別排水処理事業	5,657万円	2.9%

特別会計名	予算額	前年度比	
後期高齢者医療	9,874万円	1.8%	
国民健康 保 険	事業勘定	10億9,016万円	8.8%
	診療施設勘定	3億9,350万円	39.6%
介護保険	11億1,028万円	0.8%	
簡易水道等事業	6,915万円	1.2%	
水道事業 会 計	収益的収支	1億5,507万円	1.7%
	資本的収支	1億2,857万円	32.7%

新生活にわくわく 西会津小

4月6日、西会津小で入学式が行われ、新1年生34人が入学しました。保育所と違う雰囲気に対し緊張気味の皆さんでしたが、式で名前を呼ばれると元気よく「はい」と返事をして起立しました。三留里桜さんが代表で教科書を、渡部駿佑くんら5人が入学記念品を受け取り、式の最後には6年生の高野駿さんが「明日からお兄さん、お姉さんと一緒に登校し、元気に頑張らしましょう」と歓迎のことばを述べました。



目標を持ち一歩ずつ 西会津中

西会津中の入学式は4月6日に行われ、新たに38人が入学しました。式では、新入生が一人ずつ呼名された後、校長式辞、来賓祝辞と続き、3年生の須藤諒さんが「一緒に笑顔の絶えない西会津中をつくっていきましょう」と歓迎のことばを述べました。教科書は板垣歩さんが受け取り、長谷川姫菜さんが「感謝の気持ちを忘れず、目標を持って一歩ずつ歩みを進めたい」と誓いのことばを述べました。



目標に向かって励む 西会津高

西会津高の入学式は4月10日に行われ、本年度は24人が入学しました。式では、中野隆幸校長が新入生の入学を許可し、「今日の感動を忘れることなく、高い志を持って学校生活を送ってください」と式辞を述べました。続く来賓祝辞の後には、新入生を代表して齋藤優翔さんが誓いのことばを述べ、「それぞれの目標に向かって実りある学校生活を送れるよう励んでいきます」と決意を固めました。



設立40周年 町赤十字奉仕団

西会津町赤十字奉仕団が設立40周年を迎え、4月5日に記念式典が開かれました。式典では、鈴木満子委員長が「町全体の奉仕団として活動を発展させていきたい」とあいさつした後、奉仕団の発展向上に尽くした山口サト子さんに感謝状を贈りその功績をたたえました。また、団員の赤十字事業に対する功績が認められ、矢部ひとみさんら10人には日本赤十字社から金色有功章が贈られました。奉仕団は昭和52年の設立以来、奥川マラソンなどで地域に密着したボランティア活動を続けています。



空手「型」全国大会に出場 會士館

3月28日、會士館の秦貞継館長らが町役場を訪れ、国際親善第9回全日本型空手道選手権大会への出場を伊藤町長に報告しました。伊藤町長は「入賞目指し頑張ってきてください」と激励金を手渡し、訪れた皆さんは「良い報告ができるよう頑張ってきます」と意気込みを語りました。この全国大会は4月2日に国立代々木競技場第2体育館で行われ、會士館から出場した皆さんは練習の成果を存分に発揮しました。惜しくも入賞とはなりませんでした。4位や5位の成績を残すなど大活躍でした。



「にしあいづ物語」の候補を紹介

町では、町の歴史や文化を広く知ってもらうことを目的に、3月25日、シンポジウム「そうだ、にしあいづ物語を聴きに行こう!」を開催しました。シンポジウムでは、県立博物館館長で町歴史文化基本構想等策定委員会委員長の赤坂憲雄さんをコーディネーターに、町内各地区から選ばれた5人のパネラーの皆さんが、それぞれの地区に伝わる「にしあいづ物語」の候補を紹介しました。町歴史文化基本構想等策定委員会では、今回の物語などをまとめ、「にしあいづ物語」の作成を進めています。



地域で支え合う意義を考える

4月16日、町社会福祉協議会では、町内各地区で行っている支え合い活動などの発表を聞きながら自分たちにできる地域づくりを考えてもらうため、「みんなで考える地域支え合い活動発表会」を開催しました。当日は、特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンターの酒井保さんをコメンテーターに、サロン活動や地域おこし活動に取り組む皆さんがその活動内容を発表しました。会場に訪れた皆さんは、「地域で支え合う」ことの意義について、あらためて考えを巡らせていました。



平成29年度の町役場の体制

町職員の異動と新たな職員紹介

退職【3月31日付】

◎大竹享(企画情報課長)

◎武藤恵子(健康福祉課付主任専門保育士兼係長にしあ

いづ福祉会派遣)

◎新田幸恵(健康福祉課保健

師長)

◎五十嵐悦子(学校教育課学

校教育係長兼給食センター

次長)

定期人事異動【4月1日付】

▼企画情報課長矢部喜代栄

(総務課長補佐兼総務係長)▼

健康福祉課主幹兼子育て支援

センター所長兼こゆりこども

園長渡部栄二(健康福祉課長

補佐兼福祉介護係長「介護担

当」)▼健康福祉課長補佐兼福

祉介護係長「介護担当」鎌倉康

裕(学校教育課長補佐)▼学校

教育課長補佐兼給食センター

次長斎藤伸也(商工観光課長

補佐兼商工観光係長)▼総務

課長補佐兼総務係長佐藤実

(総務課行政管理係長)▼商工

観光課長補佐船橋政広(健康

福祉課国保医療係長)▼出納

室主任出納員三瓶ひとみ(奥

川支所長)▼総務課行政管理

係長佐藤泰久(企画情報課情

報政策係長)▼奥川支所長鈴

木利博(町民税務課税務係長

「収税担当」)▼町民税務課税

務係長「収税担当」寺田悟(健

康福祉課長補佐兼福祉介護係

長「福祉担当」)▼町民税務課

町民生活係長「戸籍担当」上野

美子(出納室出納員)▼健康福

祉課国保医療係長齋藤洋子

(農林振興課農政係長)▼学校

教育課学校教育係長橋谷田和

弘(総務課財政係長)▼総務課

財政係長齋藤正利(総務課主

査)▼企画情報課情報政策係

長武藤洋一(企画情報課主査)

▼健康福祉課福祉介護係長

「福祉担当」三留昭生(町民税

務課主査)▼健康福祉課子育

て支援係長齋藤淳(健康福祉

課主査)▼商工観光課商工観

光係長薄清久(商工観光課主

査)▼農林振興課農政係長齋

藤賢(農林振興課主査)▼総務

課付磐梯町派遣江川恵一(農

林振興課主査併農業委員会)

▼総務課主査二瓶晃典(総務

課付北塩原村派遣)▼企画情

報課主査小林和洋(健康福祉

課主査)▼町民税務課主査江

川すが子(建設水道課主査)▼

町民税務課主査五十嵐国幸

(商工観光課主査)▼健康福祉

課付にしあいづ福祉会派遣石

井里恵子(国保西会津診療所

看護師長兼国保群岡診療所看

護師長)▼健康福祉課主任保

健師二木美津子(健康福祉課

付にしあいづ福祉会派遣)▼

商工観光課主査齋藤俊一郎

(町民税務課主査)▼建設水道

課主査小柴郁子(町民税務課

主査)▼農林振興課副主査佐

藤聖矢(総務課主事)▼総務課

付後期高齢者医療広域連合派

遣田崎友梨(国保西会津診療

所主事兼国保群岡診療所主

事)▼農林振興課主事併農業

委員会仲川恭介(建設水道課

主事)▼訪問看護事業所管理

者鈴木恵子(任期の更新)

※()内は旧任

新採用職員・人事交流職員紹介



総務課 主事
ふるかわ ゆうき
古川 祐樹

抱負Ⅱ町民の皆さんにとつて住みよい町になるよう、力を尽くしていきたいと思いま

抱負Ⅱ道路や水道の管理などを通して、町民の皆さんの生活に貢献できるように努めていきます。出身Ⅱ喜多方市



建設水道課 主事
よこやま たくや
横山 拓也



健康福祉課 主事
はた しょうご
秦 渉 吾

抱負Ⅱ町の発展のために、精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。出身Ⅱさゆりが丘



学校教育課 主事
いとう とくひろ
伊藤 徳裕

抱負Ⅱ職務に全力で臨み、町民の皆さんのより良い生活に貢献できるように頑張つていきます。出身Ⅱ呼賀



国保西会津診療所主事
兼国保群岡診療所主事
いづみ ことみ
岩 美

抱負Ⅱより住みやすく、より活気のある町になるよう励んでいきたいと思ひます。出身Ⅱ西郷村



農林振興課 主査
わたなべ りょう
渡部 亮

抱負Ⅱ2年間お世話になります。町のため、町民の皆さんのために頑張ります。人事交流Ⅱ猪苗代町より派遣

新たに3人が着任 地域おこし協力隊員

新隊員の紹介

木県栃木市
 抱負 少しでも早く地域に
 馴染み、積極的に行動してい
 きたいと思えます。出身 栃



集落支援担当
 小林 拓也

抱負 町の魅力をたくさん
 の人に発信できるように頑張
 りますので、よろしくお願
 いします。出身 郡山市



観光担当
 佐々木 祐子

抱負 町の魅力を発信でき
 るよう、多くの人とコミュニ
 ケーションを取っていきたく
 いです。出身 山形県酒田市



芸術担当
 池田 麗奈

新しい橋屋橋の本格的な工事始まる 町縦貫道路



本格的な工事が始まった新しい橋屋橋

町では、町縦貫道路の整備を県と共に進めています。このうち、県が町に代わって工事を行う町道野沢柴崎線「橋屋橋」の架設工事は、平成28年度から上部工の工事に取り掛かり、橋桁の工場製作を経て、現在は平成29年度内の新しい橋屋橋完成に向けた本格的な架設工事が進められています。

今後も、県道部分の整備は引き続き県に要望しながら、町縦貫道路の早期完成に向け取り組んでいきます。

春の行政相談・人権相談を実施

5月は「福島さわやか行政相談キャンペーン」期間です。町では、右の日程で特設行政相談所を開設し、役所や特殊法人などに関する苦情の相談に応じます。

また、さまざまな人権問題に関する相談に応じる特設人権相談所も併せて開設しますので、この機会にご相談ください。

- ◆行政相談委員 田崎 宗作さん (小杉山)
- ◆人権擁護委員 長谷川 孝志さん (森野)
- 嶋田 純子さん (下野尻)
- 長谷川 成博さん (梨平)

◆行政相談委員の委嘱 (再任) について

総務省では、西会津町を担当する行政相談委員として、田崎宗作さん (小杉山) を委嘱しました。

委員の任期は平成29年4月1日から2年間です。



◆開催日時・会場

- 5月17日 (水)
 - 午前9時30分～正午 新郷連絡所
 - 午後1時～3時30分 奥川みらい交流館
- 5月18日 (木)
 - 午前9時30分～正午 保健センター
 - 午後1時～3時30分 町公民館
- 6月1日 (木)
 - 午前10時～午後3時 町公民館
 - ※6月1日は人権相談のみ

◆問い合わせ先

- 総務課・行政管理係 (行政相談) ☎45-2211
- 町民税務課・町民生活係 (人権相談) ☎45-2215



こちら西会津交番・奥川駐在所です

4月の人事異動により、新たに西会津交番・奥川駐在所に着任した警察官の皆さんを紹介します。



なかの め かずき
中野目 一樹 巡査

▶西会津交番、野沢地区担当。幸町交番(喜多方市)から異動。抱負=皆さんに顔を覚えてもらえるように巡回連絡を多く実施し、早く地域に溶け込みたいと思います。



こばやし しょうたろう
小林 祥太郎 巡査

▶西会津交番、尾野本地区担当。幸町交番(喜多方市)から異動。抱負=いち早く地域に溶け込み、顔を覚えてもらえるよう、明るく仕事に取り組んでいきます。



たべ ゆうだい
田部 悠大 巡査長

▶奥川駐在所、奥川地区担当。いわき中央警察署から異動。抱負=初めての駐在所勤務となりますが、若さと情熱を武器に地域の安全安心を守っていきます。

このほかの各地区を担当する警察官は昨年と同様で、次のとおりです。



◆西会津交番

野沢地区担当 白岩 道晃 所長
群岡・新郷地区担当 野村 和正 巡査部長

戸籍の窓口 [3月受付分]

まちの人口 (4月1日現在)

		(前月比)
人口	6,677人	(-51人)
男	3,230人	(-20人)
女	3,447人	(-31人)
世帯	2,709世帯	(+1世帯)

ご結婚おめでとう

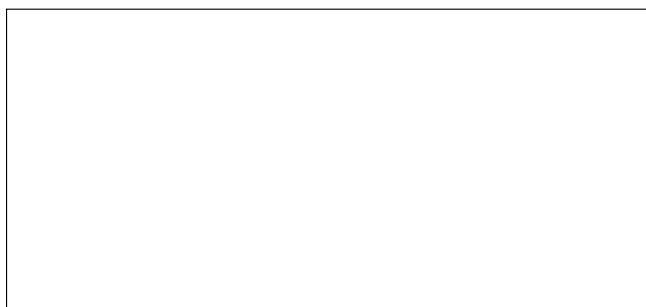
齋藤 篤	上野尻
小貫 祥子	須賀川市
佐藤 泰寿	石川町
三留 朋江	6町内



お悔やみ申し上げます

須藤 吉鬼 (64)	洋 父	2町内
橋谷田 申 壬 (84)	新一 父	4町内
鈴木 輝一 (88)	秀政 父	8町内
根本 チャウ子 (84)	芳朗 母	9町内1
伊藤 ミツ子 (86)	要一郎 母	堀越
石川 喜代治 (77)	靖典 父	安座
平野 ミチ (96)	輝雄 母	安座
渡部 美代子 (84)	康弘 母	萱本
薄 茂子 (70)	浩行 母	上野尻
山形 レイ子 (84)	正 母	徳沢
仲根 チヨノ (92)	光雄 母	滑沢
渡部 キミ (99)	和晃 祖母	戸中
荒海 ミキ子 (85)	勇 母	小綱木

有料広告欄 [詳細は広告主に問い合わせください]



有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・情報政策係 ☎45-4536

健康づくりは 朝が いちばん

予防接種で感染症をしつかり予防

予防接種は、感染症に対する免疫を獲得し、その症状を和らげるために行われます。予防接種が行われている病気のほとんどは、感染力が強く、一度発症すると有効な治療法がなかったり、重症化すると後遺症が残る割合や死亡率が高かったりします。感染症の発症や流行を防ぐため、予防接種は必ず受けるようにしましょう。



麻しん・風しんの 予防接種

定期接種とは？

感染症対策上、重要度が高いと考えられる予防接種は、予防接種法に基づき行政の費用負担による接種が行われています。このうち、一定の年齢において接種を受けることとされているものが「定期予防接種」です。町の定期接種は無料で受けることができますので、対象となる場合はぜひ受けることをお勧めします。

定期予防接種のひとつに麻しん・風しんの予防接種があります。麻しんや風しんは特に感染力が強く、かかると重症になったり、合併症を起したりする場合があります。確実に予防するためには2回の予防接種が必要となりますので、接種の対象となった場合は早めに受けるようにしましょう。

接種の時期 1回目は1歳、2回目は小学校就学前の1年間（年長児）
先天性風しん症候群 免疫



のない女性が妊娠初期に風しんに感染すると、出生児に先天性心疾患や難聴、白内障などの障害を引き起こすことがあります。これを先天性風しん症候群といいます。町では、これを予防するため、妊娠を予定または希望している女性とその家族を対象に予防接種費用の助成を行っています。

ています。希望する場合は健康福祉課・子育て支援係（☎45-4332）に問い合わせください。

高齢者の肺炎球菌 ワクチン予防接種

肺炎はわが国の死亡原因の第3位となっており、日常的に生じる成人の肺炎のうち、4分の1から3分の1は肺炎球菌が原因と考えられています。この肺炎球菌による感染症は、健康で十分な免疫力がある場合、まずかかることはありません。しかし、風邪をひいた後や体調を崩したときなど、何らかの原因で免疫力が低下すると、肺炎球菌による感染症を発症することがあります。また、免疫力は高齢とともに落ちていきます。高齢になるほど感染のリスクが高まりますので、予防接種は確実に受けましょう。

本年度の肺炎球菌ワクチン 定期接種の対象者 平成29年4月1日〜平成30年3月31日までに65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる人で、初めて肺炎

球菌ワクチンを接種する人
予防接種は計画的に受けましょう

定期予防接種では、接種の対象となる年齢、病気の性質などから接種を受けることが望ましいとされる「標準的接種期間」や、接種回数、接種間隔などが定められています。複数回接種を受ける必要があるワクチンは、体調が悪いため予定の日に接種できず、接種間隔が長く空いてしまうことがあります。このような場合であっても、所定の回数の接種を確実に済ませることが重要です。

また、秋から冬にかけてはインフルエンザが流行します。接種期間が1年間と決められている予防接種などは、体調の良い時期に早めに接種することを勧めます。



平成29年度 講座・教室紹介

平成29年度の主な講座や教室を紹介します。詳しい内容や申し込み手続きについては、各世帯に配布するチラシやケーブルテレビをご覧ください。皆さんの参加をお待ちしています。



西小わくわくクラブ「ケーキ作り」



さゆり中学「自然探勝」



女性講座「編み物教室」

講座（教室）名	対 象	実施時期 (予 定)	会 場	内 容
西小わくわくクラブ (休日活動)	小学生	5月～2月	町公民館など	地域の皆さんと一緒にニュースポーツや工作、料理などの体験活動を行う。月1回程度、土・日曜日、祝日などに実施。
キッズランニング クラブ	小学4～6年生	5月～3月	さゆり公園など	ランニングなどを行って走ることに親しみ、町内外のマラソン大会に参加する。月2回程度、土曜日に実施。
子ども英語教室	小学3～6年生	6月～3月	町公民館	外国語指導助手を講師に、歌やゲームなどを通して英語や外国文化に親しむ。第2火曜日の夜間に実施。
英会話教室	中学生以上	6月～3月	町公民館	外国語指導助手を講師に日常英会話を学習する。初級、中級を選択可能。火曜日の夜間に実施。
女性講座	18歳以上の女性	5月～2月	町公民館など	歴史、自然、芸術、文化など幅広い分野の学習や軽スポーツを行う。平日に実施。
ヨガ教室	15歳以上	5月～12月	町公民館	ヨガの姿勢や呼吸法を学ぶ。 毎月第2・第4水曜日の夜間に実施。
はつらつ スポーツ講座	60歳以上	5月～3月	町公民館など	カローリング、カーリンコン、グラウンドゴルフなどを行う。平日に実施。
さゆり中学	18歳以上	6月～12月	町公民館など	西会津に関わる歴史や町内外の自然、芸術文化などを学ぶ。平日に実施。
陶芸教室	18歳以上	5月～12月	老人憩の家	陶芸を基礎から学ぶ。 毎週水・木曜日に実施。
出前講座	自治区・老人クラブ などの団体、グループ	4月～3月	自治区集会所や 町公民館など	団体やグループの要望により、歴史、自然、文化、スポーツなどの教室を行う。申し込みは随時受け付け中。
昔語り講座	18歳以上	5月～12月	町公民館など	民話や昔語りを聞き、地域文化や方言について学習する。平日に実施。
ものづくり教室	18歳以上	5月～9月	町公民館	エコクラフトバッグ、つるし雛作りなどを基礎から学ぶ。平日に実施。
にしあいづ物語 講座	どなたでも参加 できます	5月～3月	町公民館など	地域に伝わる民話や伝説、文化財など、地域の宝をもとに作った「にしあいづ物語100選」を題材にして講座を行う。平日に実施。

【申し込み・問い合わせ先】 町公民館 ☎45-3244



ひろかず
中西 広一さん [芝草]

かおる
渡部 香さん（4月号）からメッセージ
次、よろしくお願いします。

趣味は？
溪流釣り

熱中していることは？
地図のパズル

あなたのモットーは？
健康第一

町民

バトンタッチ

自分を一言で表現するとしたら？
優柔不断

これからやってみたいことは？
海釣り。大物を釣ってみたい

次の方を紹介してください
M・Wさん（5町内）



聞いて！
わたしの夢

ソフトボール部 部長
みゆう
渡部 美優さん

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分が思い描く夢や目標を話してもらっています。今月は3年・渡部美優さんです。

わたしの夢——

「私は将来、子どもに携わることができる職業に就きたいと考えています。そう思うようになったきっかけは、2年生のときの職場体験で西会津小に行ったことです。子どもたちがかわいと思うと同時に、子どもたちに何かを教えることが楽しいと感じました」

努力していること——

「毎日の勉強はもちろん、子どもだけでなく誰にでも優しくできるよう心掛けています」

未来の自分に一言——

「何事にも一生懸命取り組んでいますか？自分よりも大切にしたいと思える人はいますか？就きたいと考えていた職業に就くことができましたか？どんなことにも本気で頑張ってください」

宝物は？『シクラメンの鉢植え。高校卒業のときに買いました。芽しか出ないときもありましたが、今は何とか咲いてくれています』



町民

ギャラリー

今月は、四君子会(水墨画)

尾崎サト子さんの作品です。

作品名『うさぎ』

作品介绍『水墨画と聞いてただ黒く塗れば良いと考えていた私。どっかい違うカルチャーです。墨の濃淡で雰囲気を出すなど、会の皆さんの励ましの言葉で今まで続けることができ、これだけ描けるようになりました』



ほんかいだん しょうにんさま 本海壇(聖人様)と相撲

道の駅裏の田沢川（以前は橋があった）を渡り、少し上った段丘上に野沢の人たちが「聖人様」と呼ぶ「本海壇」があります。そこにはこんな話が伝わっています。

野沢宿がほぼ出来上がりつつあるころ、本海という行人（修験者）がやってきて、高灯籠を掲げ祈禱をしていたら、その火が漏れて宿場が全焼してしまいました。その後、宿場は火災が絶えないため、陰陽師に占ってもらおうと本海の恨みであるということで、宿場では毎年7月15・16日の夜、家ごとに高さ6間の高灯籠を掲げて本海の靈魂を慰めたそうです。さらに禍転じて吉祥にするため本海を火防鎮火の聖人として壇を築いて「お聖人様」として崇めました。

このように宿場をあげて本海の靈魂を慰めたり崇めたりしたのは、宿場の人々が本海に対してむごい仕打ちをしたことを悔いでのことではないでしょうか。

「旧記書」（喜島屋山本定平著）によると明和6年（1769）ころ、田沢川火防聖人の塚は毎年8月18日にまつりや相撲、狂言、太神楽、念仏踊が行われ、近村隣郷の人々が集い、大変なにぎわいであったようです。いつのころからか高灯籠を掲げることはなくなり、奉納相撲だけが昭和30年代の初めごろまで行われていました。昭和初年ごろは触れ太鼓や新町の聖人様入口に組まれた櫓太鼓が打ち鳴らされ、大勢の人々が集い、狭い本海壇周辺に出店も出て大にぎわいであったそうです。当時の相撲の様子や化粧まわしの写真が「ふるさと自慢館」に掲示されています。参考文献＝『新編会津風土記』、『西会津史談 第7号』（根本一「原町お聖人様」）



▲本海の墓石



道の駅にしあいづ

▼相撲が行われた場所



暖かくなってきました。春です。暖かくなるにつれ、何だかやる気も増してきているような気がするの私だけでしょうか。西会津の春は、花や山開きなど、イベントが盛りだくさんです。もちろん、私は遊びに（取材に）行きます。皆さんもぜひ、足を運んでみてはいかがですか。

仕事は楽しく 長谷川祐一

編集後記



▲ローレン先生と一緒に英語を楽しむゆり組の児童たち

今月の表紙は、こゆりこども園で行われた英会話教室から。こゆりこども園ではゆり組さんから英会話教室を行うようになったため、より小さなうちから英語に親しめるようになりました。

今月の表紙